

令和 7 年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事 業 報 告 書

目次

I	地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業	4
1	地域福祉活動計画の推進	4
	(1) 第4次地域福祉計画推進・地域福祉活動計画推進事業	4
2	小地域福祉活動の推進	4
	(1) 地区社会福祉協議会活動支援事業	4
	(2) 福祉委員（小地域福祉活動ネットワーク）活動推進事業	9
3	生活支援体制整備事業	10
	(1) 生活支援体制整備事業	10
	(2) 安心生活見守り事業	21
4	ボランティア活動の振興	31
	(1) ボランティアセンター推進事業	31
	(2) 災害にも強い地域づくり推進事業	33
5	福祉教育（ふくし共育）推進事業	34
	(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業	34
	(2) 広報充実事業	36
	(3) 社会福祉士養成課程等実習生の受入れ	36
6	社会福祉法人の地域活動貢献支援	37
	(1) 社会福祉法人連絡会の活動支援	37
7	福祉活動顕彰事業	38
	(1) 大田原市社会福祉協議会会長表彰	38
	(2) その他の表彰	39
II	福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	39
1	重層的支援体制整備事業移行準備事業	39
	(1) つなげるサポータースキルアップ研修	39
	(2) 大田原市地域づくり情報交換会	39
	(3) おおたわら地域共生つなげるネットワーク会議	40
	(4) 孤独・孤立つながりサポーター養成講座	40
	(5) 「地域共生社会」の実現に向けた研修	40
	(6) ひきこもり出張相談会の開催	40
2	総合相談事業の実施	41
	(1) 心配ごと相談事業	41
	(2) 福祉金庫貸付事業	41
	(3) 生活福祉資金貸付事業	42
3	生活困窮者自立支援事業	43
	(1) 生活困窮者自立支援事業	43
4	権利擁護事業	44

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）	44
(2) 法人後見事業	44
Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～	45
1 介護保険サービス	45
(1) 訪問介護事業.....	45
2 障害福祉サービス	45
(1) 障害福祉サービス事業.....	45
3 その他のサービス	46
(1) 日常生活用具貸与事業.....	46
(2) リフト付き自動車貸出事業.....	46
(3) 軽トラック貸出事業.....	46
(4) 福祉サービス適正化事業	47
Ⅳ 法人の基盤強化事業.....	47
1 福祉のまちづくり市民参加運営事業	47
(1) 理事会・評議員会の開催	47
(2) 会員加入の促進.....	50
(3) 中期経営計画策定準備.....	50
2 基金・寄付事業.....	51
(1) 善意銀行運営事業	51
(2) 地域福祉基金造成事業.....	52
(3) 大田原市社会福祉協議会寄附.....	52
3 栃木県共同募金会大田原市支会.....	54
(1) 赤い羽根共同募金事業.....	54
4 経営理念の施策の推進について.....	55
5 その他.....	56
(1) 佐良土多目的交流センターの管理.....	56
(2) 印刷機利用サービス事業	56

令和7年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

令和7年度、大田原市社会福祉協議会は、次の4つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

- (1) 「**重層的支援体制整備事業の移行準備事業**」では、令和8年度からの本事業実施に向けて、市役所内に、市民からの相談を包括的に受け止め、アセスメントの後に適切な関係機関へ丁寧なつなぎを行う、「つなげるサポーター」の配置及びサポーターのスキルアップ研修や、包括的相談支援機関、医療機関等との分野横断的な地域づくりに関する意見交換会、社会福祉法人連絡会や市内で福祉に携わる団体等との、事例検討を通じた顔の見える関係性づくりを実施しました。
- (2) 「**小地域福祉活動計画の策定・推進**」では、市内5地区（紫塚地区・親園地区・野崎地区・黒羽地区・須賀川地区）が第2次小地域福祉活動計画の策定作業を行い、地区内の良いところを再発見し、新たな課題に向き合い解決のための計画を策定しました。また、策定地区を除く7地区において実施している小地域福祉活動計画の推進状況確認アンケートをまとめ、地域の活動に関する工夫点や改善点を活かすため、集計結果を地区社協理事会や第2層協議体等で報告しました。
- (3) 「**生活困窮者自立支援事業の充実**」では、各種関係機関と連携しながら経済的に困窮する世帯への伴走的な支援を行いました。また、自立支援調整会議において自立相談支援プラン11件の承認をもらい、中長期的な関わりでの生活再建に向けた支援を続けています。コロナ特例フォローアップ支援とも連携し、償還困難な世帯等に対して自立相談支援での相談対応を行い、安定して償還ができるようアプローチを続けています。今後の生活困窮者自立支援事業の拡大に向け、福祉課との協議を続けています。
- (4) 「**介護事業及び障害福祉サービス事業のサービス向上**」では、サービスが必要な方に良質で総合的なサービスが提供できるよう、保健、医療、福祉の関係機関と綿密な連携を図りながら、黒羽、湯津上の山間部を中心に訪問介護事業を行いました。また、障害福祉サービスの向上を図りました。

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 地域福祉活動計画の推進

(1) 第4次地域福祉計画推進・地域福祉活動計画推進事業

大田原市とともに進めている第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）の2年目の取り組みとして、地域住民、行政、関係機関、団体と協働しながら次のとおり実施しました。

1) 第4次地域福祉計画・大田原市地域福祉活動計画「取り組み状況調査」の実施

- ①市民の取組 回答数 166 件
- ②施設・団体の取組 回答数 65 件
- ③市社協の取組 回答数 21 件
- ④行政の取組 回答数 15 件

2) 第2回第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

日 時： 2月18日(水)午前10時～12時

場 所：市役所 南別館会議室1

参加者：推進委員 22人

内 容：・取り組み状況調査報告

・講話「第4次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」

講師 国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科

講師 高石 麗理湖 氏

・グループワーク（重点施策の取組について、すでにやっていること、これからできそうなこと）

2 小地域福祉活動の推進

(1) 地区社会福祉協議会活動支援事業

1) 第2次小地域福祉活動計画の策定

紫塚地区・親園地区・野崎地区・黒羽地区・須賀川地区の5地区社会福祉協議会において、第2次小地域福祉活動計画の策定に取り組みました。

○紫塚地区

月 日	会議種別	主な内容	参加人数
6月16日	準備委員会	策定方法の検討	14人
7月4日	第1回	第1次計画振り返り・やってきたこと、できていること	24人
9月5日	第2回	地域の課題、洗い出し	27人
11月7日	第3回	解決策のアイディア出し・具体的な取り組みの検討	19人
12月19日	リーダー会議	原案の作成	9人
1月23日	第4回	最終原案検討	24人

※協議体会議と合同開催

○親園地区

月 日	会議種別	主な内容	参加人数
6月27日	準備委員会	策定方法の検討	15人
7月16日	第1回	第1次計画振り返り・やってきたこと、できていること	29人
8月20日	第2回	地域課題の洗い出し、課題の分析	25人
9月17日	第3回	課題の整理、具体的な取り組みの検討	22人
10月15日	リーダー会議	原案の作成	8人
11月19日	第4回	具体目標、原案作成	23人
12月3日	リーダー会議	原案のまとめ	7人

※協議体会議と合同開催

○野崎地区

月 日	会議種別	主な内容	参加人数
7月30日	準備委員会	策定方法の検討	10人
7月30日	第1回	1次計画の振り返り・新たな課題・解決したい内容	22人
9月25日	第2回	新たな課題・解決したい内容	29人
11月20日	第3回	具体的な取り組み内容の検討・原案の作成	30人
12月19日	リーダー会議	具体目標(案)、計画書レイアウト検討	8人
1月29日	第4回	最終原案の確認	32人

※協議体会議と合同開催

○黒羽地区

月 日	会議種別	主な内容	参加人数
7月3日	第1回	策定委員会設置、策定の進め方、1次計画の成果と課題	23人
8月6日	第2回	地域課題の整理・分析、解決策のアイデア出し	23人
9月10日	第3回	解決策のアイデア出し、具体的取り組み検討	19人
10月22日	第4回	具体的取り組み検討	19人

11月26日	リーダー会議	原案の検討	6人
1月14日	第5回	最終原案の検討	19人

※協議体会議と合同開催

○須賀川地区

月 日	会議種別	主な内容	参加人数
6月30日	準備会	策定方法の検討	24人
7月28日	第1回	策定委員会設置、策定の進め方、1次計画の成果と課題	20人
9月3日	第2回	地域課題の整理・分析、解決策のアイデア出し	21人
10月15日	第3回	解決策のアイデア出し、具体的取り組み検討	21人
11月19日	班長会議	原案の検討	7人
12月22日	第4回	最終原案の検討	20人

※協議体会議と合同開催

2) 小地域福祉活動計画の推進

令和7年度小地域福祉活動計画策定に取り組んだ5地区を除く7地区について、地区ごとに小地域福祉活動計画の推進状況を見えるようにし、工夫点や改善点を活動に生かすため、推進状況確認のアンケートを実施し、集計結果を地区社協理事会や第2層協議体等で報告しました。

3) 地区社協連絡会の開催

第2次小地域福祉活動計画の策定・推進の取り組みや活動への想いを共有し、今後のヒントを得ることをねらいに開催し、地区ごとに情報交換をしながら、日頃の地域のつながりや活動をふり返し、「ともに生きる地域づくり」を身近に感じる機会となりました。

日 時： 3月3日（火）午後2時～4時

場 所： 市役所湯津上支所 102 会議室

参加者： 62人（地区社協 35人、第2層 SC12人、市福祉課 3人、第1層 SC2人、市社協 10人）

内 容： ・講話「ともに生きる地域づくり」

講師 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科

講師 中村 哲也 氏

・情報交換

4) 地区社会福祉協議会活動支援

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会员一人当たり 250 円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりです。

○活動助成の内容

地区社会福祉協議会	助成額（円）	主な活動内容
大田原東部 地区社会福祉協議会	530,600	東部地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月 1 回）、ふれあい広場、「東部社協だより」の発行、子どもの見守り 等
大田原西部 地区社会福祉協議会	613,750	西部地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月 4 回）、あったか広場、「あったかだより」の発行 等
紫塚地区社会福祉協議会	249,750	紫塚地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月 3 回）、ボウサイ紫広場、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	623,000	金田地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月 2 回）、視察研修 等
親園地区社会福祉協議会	201,250	親園地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月 2 回）、視察研修、「親園福祉だより」の発行 等
野崎地区社会福祉協議会	377,150	野崎地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月 3 回）、「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	153,500	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月 3 回）、「佐久山社協だより」の発行、佐久山地区外出支援事業、佐久山ふくし祭り 等
湯津上地区社会福祉協議会	246,250	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月 1 回）、世代間交流事業、地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあいお楽しみ会、福祉まつり 等

黒羽地区社会福祉協議会	220,500	黒羽地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月１回）、研修会、「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	257,250	川西地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（年６回）、買い物ツアー、「川西地区社協だより」の発行、視察研修 等
両郷地区社会福祉協議会	123,500	両郷地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（年６回）避難所体験デイ、地区社協だより発行、見守り支援 等
須賀川地区社会福祉協議会	102,300	須賀川地区小地域福祉活動計画の推進・策定、生涯学習推進協議会と連携した世代間交流、食事サービス（年６回）、視察研修 等
合計	3,698,800	

○食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、１食あたり４００円の助成を行ないました。配食活動は、ふれあいと見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。物価高騰分を兼ねて一時金を追加交付し、お米券、消耗品（調理用手袋）を配布しました。

助成総額 ４,３７２,８６６円：共同募金配分より

令和７年度食事サービス助成実績一覧

No.	助成対象団体	令和７年度実績			前年度
		配食数	対象者数	実施回数	配食数
１	東部地区社会福祉協議会	351	31	12	384
２	西部地区社会福祉協議会	1,889	57	47	2,088
３	紫塚地区社会福祉協議会	1,946	64	36	1,925
４	金田地区社会福祉協議会	578	29	24	550
５	親園地区社会福祉協議会	372	21	24	333
６	野崎地区社会福祉協議会	295	9	48	297

7	佐久山地区社会福祉協議会	1,101	39	34	1,085
8	湯津上地区社会福祉協議会	652	57	12	734
9	黒羽地区社会福祉協議会	563	60	10	568
10	川西地区社会福祉協議会	344	57	6	449
11	両郷地区社会福祉協議会	353	34	10	432
12	須賀川地区社会福祉協議会	217	54	4	217
13	大田原市ボランティア連絡協議会 黒羽支部	474	254	2	512
	合 計	9,135	766	269	9,574

(2) 福祉委員（小地域福祉活動ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により170人が活動を行ないました。

自治会内のささえ活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、自然な小さなささえあいを見つけて知らせ、また、その効果について広める活動を行ないました。

1) 「自治会ささえあいカルテ」の作成

令和7年度は、新たに 45枚の提出がありました。

2) 新任福祉委員研修会の開催

福祉委員の役割を理解し活動できるよう開催しました。

実施日 4月25日（金）午後1時30分～3時

会 場 生涯学習センター会議室D

内 容 (1) 福祉委員活動について
(2) 体験談「先輩福祉委員の話を聞いてみよう」
(3) おしゃべりタイム「福祉委員活動について感じたこと
・不安なこと、地域で気になる人」

参加者 20人（新任福祉委員38人中）

3) 福祉委員・民生委員合同研修会の開催

地域のつながり発見講座

地域のつながりを生かしたささえ愛の発掘や効果の発見について学ぶ機会、また福祉委員と民生委員児童委員等、地域の活動を推進する方が協力し合えるつながりをつくり、ささえあいの地域づくりを考えることをねらいとして開催しました。

【開催日時】

地 区	期 日	会 場	参 加 者	
			福祉委員	民生委員
東部・親園・野崎・川西・須賀川	6月26日（木） 午後1時30分～4時	与一伝承館	30人	31人
西部・紫塚・佐久山・湯津上・黒羽	6月27日（金） 午前9時30分～12時	与一伝承館	21人	39人
金田・両郷	6月27日（金） 午後1時30分～4時	与一伝承館	13人	13人

テーマ：「地域のつながりを生かしたささえ愛の地域づくり」

内 容：（１）「自然な地域のつながりを見つめ直してみよう」

（２）グループワーク

4) ささえあいネット通信の発行

ささえあいネット通信を9月と2月に発行し、福祉委員、自治会長、民生委員に配付しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 生活支援体制整備事業

市からの受託事業である「ささえ愛おたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、第2層コーディネーターの配置と、支え合いの地域づくりを進める第2層協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。協議体だよりの発行、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携して進められるよう地域の実情に合わせ、地域のつながりを生かした支え合いの地域づくりのための話し合いを進めています。

1) 第2層協議体活動支援

○生活支援コーディネーター研修、情報交換会

開催日	内 容	参加者数
4月10日	事業方針説明・年間計画	28人

6月4日	地域防災の取り組みについて2地区のSCが発表し、グループで話し合い	26人
8月6日	「地域共生の地域づくりについて」研修会を開催	29人
9月3日	「那須広域交流会」開催（那須塩原市・那須町・矢板市・大田原市のSC交流会）	61人
10月1日	「いっそうにそうつながる会」として、第1層協議体委員と情報交換	30人
12月5日	視察研修「栃木市岩舟支所における生活支援体制整備事業の取り組み」	19人
2月9日	大田原市安心生活見守り事業推進会議 （見守り事業・生活支援体制整備事業に関して）	49人

2) ささえ愛の地域づくり推進プログラム

① ささえ愛の地域づくりの支援体制づくり研修会の開催

行政・包括・社協がチームとなり、地域づくりについての共通認識を深めることを目的に開催しました。

講師：全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘氏

期 日	内 容	参加人数
5月15日（木） 午前9時30分～ 11時30分	・講話：みんなでつくる ささえ愛の地域 づくりとは ・グループワーク	31人
2月25日（水） 午前9時30分～ 11時30分	・講話：令和7年度の振り返り ・グループワーク	33人

・会 場：大田原市役所

・参加者：第2層SC、第1層SC、地域包括支援センター職員、市役所職員、社協職員

・内 容：講話、グループワーク

3) 地域資源の再発見と地域ニーズの把握

地域のつながりを生かした、ささえ愛の地域づくりを進める地域人材や場の発掘、つながりとささえ愛の見える化、地域でささえ愛続ける意欲を高め、人材を育成する。また、ささえあいの効果や価値を広めて介護予防や地域づくりにつなげることをねらいに実施しました。

講師：全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘氏

① 地域のつながり発見講座

福祉委員と民生委員児童委員等、地域の活動を推進する方が協力し合えるつながりをつくり、ささえあいの地域づくりを考えることをねらいに開催しました。

・開催日時

地 区	期 日	時 間	参加人数
東部・親園・野崎・川西・須賀川	6月26日(木)	午後1時30分～4時	92人
西部・紫塚・佐久山・湯津上・黒羽	6月27日(金)	午前9時30分～12時	88人
金田・両郷	6月27日(金)	午後1時30分～4時	57人

・テーマ：地域のつながりを生かしたささえ愛の地域づくり

・会 場：那須与一伝承館 多目的ホール

・参加者：福祉委員、民生委員児童委員・主任児童委員、地区社会福祉協議会会長、見守り隊（会）総隊（会）長、協議体委員長、協議体委員（金田・両郷）、地域包括支援センター職員、見守り隊主任・第2層SC、第1層SC、市職員、市社協職員

・内 容：講話「地域のつながりの大切さ」、グループワーク

② 地域のつながり発見講座②

地域のつながり発見やその効果について学び、見つけたつながりから10年後、20年後の暮らしについて話し合い、つながり続けていく地域づくりのため、つながりの効果を広めていくことを目的に開催しました。

・テ ィ マ：見つけたつながりから、未来の暮らしを考える

・開催日時：8月22日（金）午後1時30分～4時10分

・会 場：黒羽川西地区公民館

・参 加 者：金田地区協議体委員、両郷地区協議体委員、地域包括支援センター職員、見守り隊主任・第2層SC、第1層SC、市職員、市社協職員

・参加人数：61人

・内 容：講話「見つけたつながりから未来の暮らしを考える」
グループワーク

③ 地域のつながり発表会

本年度の取組をもとに、自然なつながりに気づく視点や、つながりの効果を市内全体に広め、つながり続けていく地域づくりのための意識を高めることをねらいに開催しました。

・テーマ：見つけたよ！私たちの宝物「地域のつながり」

・開催日時：令和8年1月12日(月) 午後1時30分～3時40分

- ・会 場：那須与一伝承館 多目的ホール
- ・参 加 者：各地区第2層協議体委員、第1層協議体委員、民生委員児童委員・福祉委員・地域包括支援センター職員、市ケアマネージャー連絡協議会・見守り隊主任・第2層SC、第1層SC、市職員、市社協職員
- ・参加人数：136人
- ・内 容：講話「地域のつながりは宝物」、発表（モデル地区：金田・両郷）、認定式

④ 地域のつながりを生かしたささえ愛の地域づくり 金田地区協議体研修会
金田地区における本年度の取組のまとめとして、自然なつながりに気づく視点、つながりの効果や価値を考える視点をもてるよう、また、それらを通じて金田地区が元気になることをねらいに実施しました。

- ・開催日時：1月28日（水）午後6時30分～8時30分
- ・会 場：金田北地区公民館
- ・参 加 者：金田地区協議体委員
- ・内 容：講話「友人や仲間との地域のつながりこそセーフティネット」
- ・参加人数：34人

⑤ 「地域のステキなつながり Vol.2」の作成・発行
福祉委員やつながり発見講座の情報から地域の自然なつながりを取材し、つながりの効果や価値を広く知ってもらうために冊子を作成・発行しました。

4) 地域共生社会への理解を深めるための地域での事例検討会

第2層協議体等で困難ケースなどの事例検討会を実施し、地域で身近に問題を抱えている家庭があることを知ってもらうことによって、問題に気づき（ニーズキャッチ）、専門機関につなぐことや、地域での助け合いを強化することをねらいに実施しました。

・開催日時、場所

地 区	期 日	会 場	参加人数
東 部	8月19日（火） 午後1時30分～4時	東地区公民館	8人
佐久山	7月30日（水） 午後7時～8時30分	佐久山地区公民館	25人
湯津上	9月8日（月） 午後1時30分～3時	佐良土多目的交流センター	19人

- ・参加者：各地区第2層協議体委員
- ・内 容：厚生労働省プログラム「とも生き研修」、グループワーク

5) 専門職と地域住民の関係強化

地域のつながりと専門職のサービスが連携・協力して、地域に暮らす高齢者が住み慣れた地域でいつまでもいきいきと暮らしていけるよう、地域住民と医療・介護関係者と一緒に考えることをねらいに実施しました。

① 「地域で支える」を考える会を開催

テーマ：地域で支える認知症

～ひとり暮らしの認知症の人がその人らしく暮らすためには～

日 時：令和7年7月31日（木）午後7時～8時30分

会 場：市役所 101・102・103

内 容：事例検討、グループディスカッション

参加者：地区見守り隊（会） 各2名

大田原市地域包括ケアを考える会（おおたわらの会）委員等

参加人数：91人

6) 各地区の状況

① 東部地区協議体

目指す地域像 「東部から広がる共助の輪 ～気遣う心 支え合う力 こぼれる笑顔～」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
6月17日	第1回	・令和7年度の事業計画について ・協議体会議と東部地区福祉関係諸事業について確認	16人
8月19日	第2回	・研修：地域共生社会について「とも生き研修」（厚生労働省プログラム） ・グループワーク	19人
11月20日	第3回	・講話「子ども食堂って何だろう？」 ・講師：一般社団法人ひびとりどり 芝本沙南氏 ・グループワーク	18人
2月12日	第4回	・講話「ハザードマップと防災の考え方について」 ・講師：市危機管理課 ・グループワーク	42人

② 西部地区協議体

目指す地域像 「あったかな 笑顔あふれる 西部地区
～いつでも 誰でも 声をかけ愛 つながる和～」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
-----	-----	------	------

6月18日	第1回	これまでの振返りと役員改選、令和7年度の事業計画について、グループ討議	24人
9月17日	第2回	グループ討議（しくみづくり・つながりづくり・きづなづくり）、全体会議（各グループの情報共有）	29人
11月19日	第3回	グループ討議（前回からの討議を続け具体的な内容を決定）、全体会議（各グループの情報共有）	24人
1月21日	第4回	グループ討議（具体的な取組みの決定）、全体会議（各グループの情報共有、1年間の振り返り）	24人
2月16日	研修会	研修：講話「あったか広場をよりあったかく～地域の良さを再発見～」 講師：一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事・社会教育士 廣瀬隆人氏	22人

③ 紫塚地区協議体

目指す地域像 「つながりと支え合いで、笑顔とあたたかさにあふれる、
住んでいてほっとする地域 ～ほっとすまいる紫塚～」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
7月4日	第1回	小地域福祉活動計画策定委員会① 第1次計画振り返り・やってきたこと、できていること	24人
9月5日	第2回	小地域福祉活動計画策定委員会② 地域の課題、洗い出し	27人
11月7日	第3回	小地域福祉活動計画策定委員会③解決策のアイデア出し・具体的な取組みの検討	19人
12月19日	第4回	小地域福祉活動計画策定委員会リーダー会議 原案の作成	9人
1月23日	第5回	小地域福祉活動計画策定委員会④ 最終原案検討	24人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・班回覧（年3回）

④ 金田地区協議体

目指す地域像 「手を取り合い 絆深まる 金田の未来」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
-----	-----	------	------

6月27日	第1回	地域のつながり発見講座① 講話「地域のつながりの大切さ」 地区ごとの話し合い	13人
8月22日	第2回	地域のつながり発見講座② 講話「見つけたつながりから未来の暮らしを考える」 地区ごとの話し合い	21人
11月25日	第3回	具体的な活動のための話し合い（「人づくり」「絆づくり」「地域・場所づくり」のグループ）	24人
1月12日	研修会	地域のつながり発表会 市野沢子ども神輿まつり発表、認定式	36人
1月28日	第4回	地域のつながり発見講座振り返り ①発表会動画視聴 ②講話「友人や仲間と地域のつながりこそ最大なるセーフティネット」 ③ワーク：ふだんやっていることの価値や効果を見つける	34人

※協議体だより発行・全戸配付（年1回）

※地域のつながり発見講座

講師：特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田昌弘氏

⑤ 親園地区協議体

目指す地域像 「 ハートフル ちかその🌸 」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
7月16日	第1回	小地域福祉活動計画策定委員会① (策定の進め方、スケジュール)	29人
8月20日	第2回	小地域福祉活動計画策定委員会② (地域課題の洗い出し、課題の分析)	25人
9月17日	第3回	小地域福祉活動計画策定委員会③ (課題の整理、具体的な取り組みの検討)	22人
10月15日	第4回	小地域福祉活動計画策定委員会 リーダー会議 (原案の作成)	8人
10月28日	視察	研修視察（地区社協合同研修：宇都宮市防災館他）	22人
11月9日	PR活動	協議体 PR 活動（パネル展示、アンケート実施）	多数
11月19日	第5回	小地域福祉活動計画策定委員会④ (具体目標、原案作成)	23人

12月3日	第6回	小地域福祉活動計画策定委員会 リーダー会議 (原案のまとめ)	7人
-------	-----	-----------------------------------	----

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

※協議体により発行・全戸配布（年1回）

⑥ 野崎地区協議体

目指す地域像 「**の**びのび **ざ**わざわ **き**ずな和く輪く」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
5月29日	第33回	・令和6年度小地域福祉活動計画アンケート結果報告 ・令和7年度の事業計画の説明 ・第1次計画推進の振り返り	29人
7月30日	第34回	小地域福祉活動計画策定委員会① ・第1次計画の振り返り・新たな課題・解決したい内容	22人
9月25日	第35回	小地域福祉活動計画策定委員会② ・新たな課題・解決したい内容	29人
11月20日	第36回	小地域福祉活動計画策定委員会③ ・具体的な取り組み内容の検討 ・原案の作成	30人
12月19日	リーダー会議	小地域福祉活動計画策定委員会(リーダー会議) ・具体目標(案)・計画書レイアウト検討	8人
1月24日	視察研修	視察研修：高根沢 元気アップ村 ひょうたん作品展示会の視察（地区社協と合同）	16人
1月29日	第37回	小地域福祉活動計画策定委員会④ ・最終原案の確認	32人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

※見守り隊により（兼協議体により）発行・全戸配布（年2回）

⑦ 佐久山地区協議体

目指す地域像 「笑顔咲く佐久山」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
-----	-----	------	------

7月30日	第1回	研修：地域共生社会について「とも生き研修」（厚生労働省プログラム） グループワーク、発表	25人
9月22日	合同視察研修	日光市芹沢地区視察	18人
10月22日	第2回	講話：「子どもの現況について」 講師：スクールソーシャルワーカー馬籠清貴氏 グループ話し合い、発表	25人
12月6日	第3回	講話：子どものつながりから生まれる佐久山の地域づくり 講師：一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事・社会教育士 廣瀬隆人氏	31人
2月18日	第4回	講演「子どものつながりから生まれる佐久山の地域づくり」のふりかえり	18人

⑧ 湯津上地区協議体

目指す地域像 「 LOVE ゆづかみ 」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
9月8日	第1回	協議体委員の委嘱等 第2次小地域福祉活動計画の確認 研修：地域共生社会について「とも生き研修」（厚生労働省プログラム） グループワーク、発表	8人
11月12日	第2回	講話：「子どもたちの現状を知り、湯津上の地域づくりを考える」 講師：スクールソーシャルワーカー馬籠清貴氏 グループワーク	12人
11月13日	視察研修	あがた農楽園（足利市）合同視察研修	5人
3月13日	第3回	地区社協視察研修報告 地域のつながり発表会結果報告 グループワーク	12人

⑨ 黒羽地区協議体

目指す地域像 「 ロマン香る 黒羽 」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
7月3日	第1回	小地域福祉活動計画策定検討 策定委員会設置、策定の進め方、1次計画の成果と課題	23人
8月6日	第2回	小地域福祉活動計画策定検討 地域課題の整理、分析、解決策のアイデア出し	23人
9月10日	第3回	小地域福祉活動計画策定検討 地域課題の整理、分析、解決策のアイデア出し	19人
10月22日	第4回	小地域福祉活動計画策定検討 具体的な取り組みの協議、検討	19人
11月26日	リーダー会議	小地域活動計画の策定検討 原案検討	6人
1月14日	第5回	小地域活動計画の策定検討 原案検討	19人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・利用者、隊員配付、班回覧、他（年12回）

⑩ 川西地区協議体

目指す地域像 「おたがいさまで ささえ愛ながら生きていく 川西地区」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
5月24日	研修	講話：生活支援体制整備事業について 講師：栃木県生活支援体制整備事業アドバイザー飯島恵子氏、目崎智恵子氏	64人
6月13日	第1回	今年度の取り組み地域課題と対応策の検討	18人
12月6日	研修	群馬県高崎市倉渕地区くらしくらぶ視察研修	7人
2月17日	研修	小山市大谷地区社会福祉協議会視察研修	12人
3月1～2日	研修	全国若者まちづくりサミット研修（東京）	8人
3月14日	第2回	これまでの振り返り、委員からの活動発表	34人

※毎月第2金曜日におやまだい未来カフェを開催

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年6回）

⑪ 両郷地区協議体

目指す地域像 「やさしさいっぱい やすらぎの両郷」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
6月27日	第1回	地域のつながり発見講座① 講話「地域のつながりの大切さ」 地区ごとの話し合い	12人
7月9日	第2回	子どもから大人まで楽しめる交流の場所	17人
8月22日	第3回	地域のつながり発見講座② 講話「見つけたつながりから未来の暮らしを考える」 地区ごとの話し合い	7人
10月9日	第4回	子どもから大人まで楽しめる交流の場所	14人
1月12日	第5回	地域のつながり発表会 木佐美地区元気お茶飲み会発表、認定式	18人
2月20日	第6回	今年度の振り返り	13人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年6回）

※地域のつながり発見講座

講師：特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田昌弘氏

⑫ 須賀川地区協議体

目指す地域像 「声をかけあい みんなで協力し安心して生活できる 須賀川にしよう」

月 日	会議等	主な内容	参加人数
7月28日	第1回	小地域福祉活動計画策定検討 策定委員会設置、策定の進め方、1次計画の成果と課題	20人
9月3日	第2回	小地域福祉活動計画策定検討 地域課題の整理、分析、解決策のアイデア出し	21人
10月15日	第3回	小地域福祉活動計画策定検討 地域課題の整理、分析、解決策のアイデア出し	21人
11月19日	班長 会議	小地域福祉活動計画策定検討 具体的な取り組みの協議、検討	7人
12月22日	第4回	小地域活動計画の策定検討 原案検討	20人
3月19日	第5回	今年度の振り返り	13人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・班回覧、他（年6回）

○地区交流拠点の検討・実施

交流拠点活動では、サロンや地区公民館やほほえみセンター等に生活支援コーディネーター（SC）が出向き、地域の皆さんの相談ごとや、地域で気になること、地域で活躍している人など、地域の皆さんの声を聞いて情報を集め、地域の困りごとを、地域の人材や、良いところを生かして解決できるようにつないだり、内容によって、行政、市社協、地域包括支援センター等、専門機関につないだりしました。

（佐久山地区・黒羽地区・川西地区・両郷地区・須賀川地区）

（2） 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」の一部を大田原市から受託しています。平成21度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや生活支援などを、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、地域の見守り支援が必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

「生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）」や地区社会福祉協議会と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、居場所活動や多世代交流、防災を切り口としたささえあいの活動など、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。また、昔ながらのご近所づきあいに加え、見守り活動を通じた地域のつながりづくりが行われています。

普段の生活の中にある自然なつながりを大切にしながら、訪問での見守り、外からの見守りや電話での安否確認など、利用者が孤立しないように工夫をしながら活動をしています。

・見守り隊員数 2,367 人

・見守り件数 77,382 件

〈内訳〉 (件)

・利用者数	1,148 人
〈内訳〉	(人)
ひとり暮らし	634
高齢者世帯	256
日中ひとり	148
日中高齢者世帯	48

1 声掛け安否確認	28,185
2 買い物支援	247
3 緊急時の通報	17
4 簡単な修繕	213
5 ゴミだし	1,141
6 役所の手続き	260
7 外からの見守り	45,071

その他	62	8 外出手伝い	362
		9 家事手伝い	567
		10 その他	1,319

1) 各地区の状況

① 黒羽見守り助け合い隊

隊の概要

発足式年月日	平成 22 年 3 月 16 日
自治会数	12 自治会
見守り利用者数	90 人
隊員数	96 人

事業経過

月 日	事 業 内 容	参加 人数
5 月 19 日	第 1 回茶話会	43 人
5 月 29 日	第 1 回隊長会議（活動報告、活動計画）、推進会議	88 人
8 月 18 日	第 2 回茶話会	37 人
10 月 8 日	見守り隊・地区社協・協議体合同研修「防災講座」	44 人
10 月 19 日	くろばね秋まつり（見守り P R 活動、募金活動）	—
11 月 12 日	買い物ツアー（ザ・ビックエクストラ那須塩原店）	18 人
12 月 15 日	第 3 回茶話会	43 人
1 月 1 日	黒羽小学校児童が書いた年賀状を見守り利用者に郵送	136 人
3 月 16 日	第 2 回隊長会議（事業報告、次年度計画）	24 人
4 月～3 月	黒羽見守り助け合い隊便り発行（毎月 1 回）	—

② 佐久山おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成 23 年 2 月 8 日
自治会数	17 自治会
見守り利用者数	128 人
隊員数	110 人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月8日	茶話会(旧福原小学校区)	—
5月23日	第1回 推進会議事業概要説明 隊員の委嘱状交付 その他(利用者の確認)	64人
7月25日	第1回 隊長会議	25人
8月4日	救急救命法合同研修(おもいやり隊、外出支援)	28人
8月28日	会食会 中止	—
10月16日	第2回 隊長会議	24人
11月16日	佐久山産業文化祭参加 バザー	—
12月11日	買い物ツアー(ザ・ビックエクストラ、道の駅)	28人
3月27日	新旧隊長会議	32人
年4回	おもいやり隊チーム会議 5月、7月、10月、3月 4回開催	—

※「いこいの広場」居場所 大神・佐南・荒町

「なごみの広場」ほほえみセンター 毎月第4水曜日(9月より)

③ 紫塚地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	70人
隊員数	60人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月23日	新旧隊長会議(活動報告、活動計画、役員改選について)	19人
5月31日	臨時隊長会議(見守り隊助成金について協議)	15人
5月31日	推進会議(活動報告、活動計画、フリートーキング)	39人
9月26日	紫塚小学校ウォークラリー支援	—

10月18日 ～19日	西地区文化祭に出展 (見守り隊と協議体の活動内容PR)	—
12月12日	隊員研修(認知症サポーター養成講座)	39人
2月13日	チーム会議(活動報告・活動計画他)	7人
3月初旬 ～中旬	利用者宅訪問によるふれあい活動(防災に関する声掛け)	—
3月19日	隊長会議(市推進会議報告、活動報告・活動計画他)	12人
年3回	お便りの発行配布	—

④ ちかその思いやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	10自治会
見守り利用者数	77人
隊員数	123人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月18日	第1回 チーム会議	7人
5月8日	第1回 隊長会議	23人
5月30日	認知症学習講座	34人
6月24日	デマンド交通乗車体験会	16人
7月30日	情報交換会	13人
8月22日	第2回チーム会議	7人
9月1日	第2回 隊長会議	22人
10月21日	事業「プチっと交流「買い物・外出支援」	25人
10月28日	地区社会福祉協議会合同研修会	22人
11月10日	親園地区文化祭「思いやり隊バザー」	多数
2月4日	第3回 チーム会議	6人
3月25日	新旧隊長会議(隊長引継ぎ等)	31人
年2回	お便りの発行配布	—

⑤ 西部地区あったか思いやりの会

会の概要

発足式年月日	平成 25 年 2 月 4 日
自治会数	8 自治会
見守り利用者数	168 人
会員数	107 人

事業経過

月 日	事 業 内 容	参加 人数
4 月 23 日	チーム会議・地区会長会議合同会議（令和 7 年度事業決定他）	14 人
5 月 12 日	推進会議（全体会議及び地区会）	59 人
6 月 5 日	浅野地区茶話会	24 人
9 月 11 日	加治屋地区茶話会	30 人
10 月 14 日	神明町地区茶話会	20 人
10 月 18 日 ～19 日	西地区文化祭参加（あったか思いやりの会 P R）	—
10 月 26 日	西部地区社協主催あったか広場参加 （あったか思いやりの会 P R）	—
1 月 1 日	あったか思いやりの会便り No.13 全世帯配付	—
3 月 17 日	チーム会議・地区会長会議合同会議（令和 7 年度事業決定他）	13 人
年 1 回	お便りの発行配布	—

⑥ 須賀川地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 25 年 10 月 29 日
自治会数	11 自治会
見守り利用者数	80 人
隊員数	101 人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月15日	第1回隊長会議・推進会議（事業決算報告、事業計画予算）	36人
8月7日	第2回隊長会議（見守り状況、情報交換、お出かけ交流支援事業）	21人
10月27日	お出かけ・交流支援買い物ツアー	43人
11月27日	地域の安全安心講座（見守り隊員、地域役員対象）	20人
12月7日	須賀川新そばまつり（見守りPR活動、募金活動）	—
3月5日	日光市足尾地区社会福祉協議会 視察受入（見守り活動について）	22人
3月19日	第3回隊長会議（事業報告、次年度計画）	19人
4月～3月	須賀川地区見守り隊便り発行（年6回）	—
4月～3月	交流拠点開設（毎月第2、第4火曜日）	—

⑦ ゆづかみ見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	113人
隊員数	208人

度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月16日	第1回チーム会議（見守り会議について、役員改選、事業報告及び決算報告、事業計画・収支予算）	8人
4月22日	見守り会議（第1回隊長会議）（R6事業報告・決算報告、R7事業計画・収支予算、要綱改正、本隊役員、連絡網、見守り活動記録、年度事業予定、救急医療情報キットについて）	26人

5月22日	ゆづかみ見守り隊推進会議（安心生活見守り事業概要、見守り活動概要、事業報告、事業計画、見守り状況、活動記録票記入・提出について、緊急時の対処法、救急医療情報キット・ボランティア保険・小地域福祉活動計画・東部地域包括支援センターについて）	67人
7月10日	ふれあいお楽しみ会（オカリナ演奏、マジックショー、変面ショー、手遊び体操）	55人
8月23日	中学生による“ゆうあい弁当”配食参加	7人
10月26日	天狗王国まつり（ゆづかみ見守り隊PR）	6人
11月9日	第3回ふくしま祭り（ゆづかみ見守り隊PR）	28人
3月5日	第2回チーム会議（第2回隊長会議について）	6人
3月23日	第2回隊長会議（事業報告・活動報告、令和8年度隊員名簿作成、見守り利用者名簿確認依頼）	28人
4月1日～ 3月31日	ささえ愛サロン「言ノ葉喫茶」火曜日開催（24回）	延べ 346人
4月24日～ 3月26日	ささえ愛サロン「岩舟台カフェ」第4木曜日（1月以降第2・4木曜日）開催（15回）	延べ 203人

⑧ 東部地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	88人
隊員数	581人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月10日	富士見ハイツ見守り隊見守り活動説明会	18人
5月20日	第1回チーム会議（令和7年度事業計画、予算案等の協議）	6人
5月27日	第1回隊長会議（役員改選、事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等）	27人
8月19日	第2回チーム会議（推進会議・隊員研修会について）	5人

9月16日	推進会議、見守り隊隊員研修・第2回隊長会議 ・講話「自分らしく生きるための人生会議」 ・もしばなゲーム	41人
1月22日	第3回チーム会議（本年度の事業報告、次年度事業計画についての協議）	5人
2月12日	第3回隊長会議・協議体合同研修会（ハザードマップと防災についての講話、本年度の事業報告、見守り状況情報交換）	42人
年1回	お便りの発行配布（1回）	—

⑨ 両郷地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	11自治会（9地区隊）
見守り利用者数	68人
隊員数	150人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月26日	第1回隊長会議(委嘱状・隊員証交付、事業報告、事業計画、予算、活動費、デマンドお楽しみツアー等)	34人
7月29日	見守り隊研修会「地域の安心安全な生活のために」	39人
11月13日	デマンド体験お楽しみツアー第1班（両郷、大輪地区）	15人
11月19日	デマンド体験お楽しみツアー第2班（河原、寺宿、大久保地区）	13人
11月20日	デマンド体験お楽しみツアー第3班（中野内地区）	8人
11月26日	デマンド体験お楽しみツアー第4班（久野又、川田地区）	13人
1月1日	両郷中央小学校児童から見守り利用者へ年賀状送付	69人
3月24日	第2回隊長会議	27人
4月～3月	両郷地区見守り隊便り発行（年6回）	—
4月～3月	郷郷カフェ（毎月第2火曜日）	—

⑩ 川西地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 26 年 11 月 19 日
自治会数	14 自治会 (17 地区隊)
見守り利用者数	107 人
隊員数	266 人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5 月 24 日	地区社協・見守り隊・協議体研修「生活支援体制整備事業」	64 人
6 月 13 日	第 1 回隊長会議（事業計画）	35 人
7 月 26 日	小さな小さな夏祭り（おやまだいおひさまカフェ）	124 人
9 月 27 日	玉藻の稲荷神社祭り（篠原カフェ）	100 人
10 月 11 日	川西地区防災訓練（自治会・公民館・地区社協・見守り隊）	121 人
10 月 30 日	買物ツアー（地区社協・見守り隊）	29 人
11 月 24 日	エルム福祉会感謝祭（見守り隊 PR・自主財源確保）	—
11 月 25 日	宇都宮市豊郷地区社協福祉協議会 視察受入（見守り隊活動、居場所活動について）	45 人
12 月 21 日	桧木沢ふれあい直売所祭り（見守り隊 PR 活動・自主財源確保）	—
1 月 25 日	黒羽大花市（見守り PR 活動、自主財源確保）	—
3 月 13 日	第 2 回隊長会議（事業報告）	35 人
4 月～3 月	青年団カフェ(4 回)	107 人
4 月～3 月	おやまだいおひさまカフェ(11 回)	247 人
4 月～3 月	移動カフェ「おひさま」(12 回)	158 人
4 月～3 月	おやまだい未来カフェ(11 回)	184 人
4 月～3 月	築地カフェ、下町 2 区カフェ、余瀬カフェ、蜂巢カフェ、篠原カフェ、桧木沢よつばカフェ、桧木沢サイプレスカフェ、寒井本郷さくらカフェ、寒井北部いちょうカフェ、上町たんぽぽ会、上町より愛ひろば、じゃがいも仲間の会、下町 2 区公民館居酒屋	—

4月～3月	川西地区見守り隊便り発行（毎月）（回覧、隊員、利用者、協力機関 54 力所	—
-------	---------------------------------------	---

⑪ 金田地区おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成 26 年 11 月 28 日
自治会数	26 自治会（32 地区隊）
見守り利用者数	82 人
隊員数	355 人

事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4 月 17 日	チーム会議	10 人
4 月 24 日	新隊長会議	41 人
5 月 29 日	推進会議・研修会『身近な防災って何だろう?? ～防災は、知識と備えと人の繋がり～』	56 人
7 月 26 日	夏徳まつり参加（PR 活動）（金田南地区公民館）	—
10 月 22 日	認知症サポーター養成講座（国際医療福祉大学）	71 人
11 月 8 日	金田地区文化祭（PR 活動）（金田北地区公民館）	—
3 月 4 日	チーム会議	9 人
3 月 9 日	隊長会議	35 人
	お便りの発行配布(3 回)	—

⑫ 野崎地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 27 年 2 月 19 日
自治会数	11 自治会
見守り利用者数	88 人
隊員数	219 人

事業経過

月 日	事 業 内 容	参加 人数
3 月 30 日	のぎさ桜まつりに合わせ見守り隊のPR活動実施	約 160 人
3 月～4 月	見守り活動説明会（5 地区隊にて開催）	105 人
5 月 15 日	チーム&隊長会議（事業計画説明、他）	16 人
6 月 18 日	推進会議（自治会長、公民館長、民生委員、福祉委員の交流会・消費者トラブル防止講座）	32 人
11 月 9 日	野崎文化祭に合わせ見守り隊のPR活動実施	約 130 人
12 月 10 日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	16 人
2 月 13 日	チーム&隊長会議（新年度計画、他）	15 人
4 月～3 月	居場所活動支援 ・野崎NT：4 回・上薄葉：1 回・薄葉団地：1 回 ・薄葉第 3 団地：3 回・東町：2 回	—
年 2 回	お便りの発行配布(2 回)	—

2) 安心生活見守り事業 会議等

① 安心生活見守り事業推進会議

- ・開催日：令和 8 年 2 月 9 日(月)
- ・会 場：大田原市役所南別館 2 階会議室

② 救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では令和2年度に市高齢者幸福課と覚書を交わし、市社協窓口での申請受付並びに、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和7年度配布本数 70本

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター推進事業

1) 中高生が考える福祉のまちづくり I N大田原

感受性豊かな中高生が、大田原市の現状や福祉の未来を考え、あらゆる人が安心安全に暮らすことができる福祉のまちづくりの方法などについて学ぶことで、これからの地域を担っていく一人となれるよう、講座を開催しています。

本年度の講座では、フードバンクの取り組みについて学び、その情報を広める活動

を通して、食品ロスや食の支援といった課題が「自分にも関係すること」だと気づくこと、自らの意思で活動・発信する意識を養うこと、地域の方とともに考え、行動することで地域とのつながりを深めることを目的に実施しました。

日 時：8月7日（木）午後1時～午後4時

場 所：トコトコ大田原3階 大会議室

参加者：中高生22人、地区社協関係者9人、大学実習生8人

内 容：テーマ ぼくらにできるフードアクション

～のぞいてみよう大田原のフードバンク～

講話 「フードバンクについて」

講師 フードバンク県北・子どもの居場所スマイルハウス

細小路 岳史 氏

グループワーク「ぼくらにできるフードアクション：ポスターづくり」

2) ボランティアサロン

① つきそい よりそい ボランティアサロン

病院内での付き添いや寄り添いが必要な人の手助けをするボランティア活動に賛同した人が集まり、具体的な支援内容、また、次年度からの組織化に向けて話し合いました。

日 時：4月14日(月)、5月19日(月)、7月14日(月)、9月29日(月)、11月10日(月)

12月22日(月)、1月26日(月)、2月25日(水)、3月16日(月) 計9回

午後2時～4時

場 所：市役所A別館2階会議室

サロン参加者：延べ57人 各回職員

活動実施回数：5回

3) 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動への連携・協力を行ないました。

4) ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
基本プラン	350 円	1,040 万円	4,171 人	4,325 人
天災・地震 補償プラン	500 円	1,040 万円	71 人	105 人

計	4,242 人	4,430 人
---	---------	---------

5) ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請の情報提供等を行いました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行いました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談・ コーディネート(再掲)
	団体数	登録者数		
令和7年度	141 団体	4,931 人	57 人	77 件 (45 件)

6) ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ 利用数	品 目	延べ 利用数
車いす	3 台	プロジェクター	0 台
アイマスク	39 枚	移動式スクリーン	0 脚
点字盤	35 台	書籍等	3 冊
点字プリンター	0 台	ハンドマイク	0 本
杖 (T 字型) / 白杖	3 本	誘導棒	10 本
CDプレイヤー	0 台	その他(テント・釜セットなど)	71 件

(2) 災害にも強い地域づくり推進事業

1) 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時に被災者の支援として開設される災害ボランティアセンターが迅速かつ円滑に開設できるように、日頃から関係団体・機関等のつながりづくりを進めるため、平時の活動として開催しました。

実 施 日： 9月30日（火）午前10時～11時30分

会 場： 市役所A別館2階会議室

協議内容：「第1回・第2回 災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修」
実施報告

「大田原市災害ボランティアセンター運営指針」について
災害VC研修から見てきた課題の共有・検討

参加団体：民生委員児童委員協議会連合会、ボランティア連絡協議会、那須野ヶ原青年会議所、IUHWボランティア委員会、市（福祉課、危機管理課）、市社

会福祉協議会

2) 大田原市災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修の開催

地域における災害ボランティア活動への理解や意識醸成を図り、災害VC運営を共に進める人材を増やすとともに、平時からのつながりづくりの促進を目指すことを目的に開催しました。

実施日：6月29日（日）午前10時～午後3時30分

会場：大田原市生涯学習センター

講師：特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李 仁鉄 氏

内容：講話「センター『運営』を学んでみよう」

演習「災害ボランティアセンター設置訓練」

参加者：個人ボランティア、那須野ヶ原青年会議所、民生委員、国際医療福祉大学生、防災士会、市ボランティア連絡協議会、市女性団体連絡協議会、市社会福祉協議会 計 64 人

5 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「ふだんのくらしのしあわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

1) 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

令和4年度に第7回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（483部）、4年生（553部）、及び中学1年生（588部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

2) 学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者の方や社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行いました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよ

う、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・生徒の相談に応じました。

【学校等への福祉教育支援状況一覧】

	実施日	学校名	対象 学年 (年)	参加 者数 (人)	協力 人数 (人)	内容
1	5月22日	金田北中	1	57	0	ボランティアについて
2	6月9日	親園小	4	19	2	地域で活動する方のお話を聞こう
3	6月26日	佐久山小	4	10	9	認知症にやさしい地域を考えよう
4	6月26日	湯津上小	4	25	2	地域で活動する方のお話を聞こう
5	6月27日	西原小	5	100	2	～じぶんの町を良くするしくみ ～赤い羽根共同募金
6	7月1日	須賀川小	3,4	10	1	認知症にやさしい地域を考えよう
7	7月4日	紫塚小	5	70	8	災害と助け合い～小学生編～（避難所運営ゲーム：HUG）
8	7月8日	奥沢小	5	6	2	認知症にやさしい地域を考えよう
9	7月15日	大田原小	4	68	9	災害と助け合い～小学生編～（避難所運営ゲーム：HUG）
10	7月17日			35	6	
11	7月17日	黒羽小	4	26	1	障がい当事者の方と学ぼう
12	9月2日	両郷中央小	4	10	11	茶話会（地区見守り隊）
13	9月3日	宇田川小	4	9	6	障がい当事者の方と学ぼう
14	9月5日	市野沢小	4	57	2	障がい当事者の方と学ぼう
15	9月25日	薄葉小	4	32	4	障がい当事者の方と学ぼう
16	10月20日	野崎中	2	52	0	～じぶんの町を良くするしくみ ～赤い羽根共同募金
17	11月7日	羽田小	4	5	1	地域で活動する方のお話を聞こう
18	11月9日	湯津上中	1～3	82	-	福祉まつり（地区社会福祉協議会）
19	12月2日	親園中	1	41	10	災害と助け合い～中学生編～ （災害図上訓練：DIG）
20	2月10日	若草中	2	67	13	災害と助け合い～中学生編～

21	2月12日		44	8	(避難所運営ゲーム：HUG)
----	-------	--	----	---	----------------

3) 大田原ふくし共育ボランティア「グループささえ」支援

「グループささえ」は、大田原市内のふくし共育（福祉教育）を支援する団体として、ふくし共育のねらいである、みんなで支え合える地域づくりのために、地域福祉を進めるとともに、地域活動に子どもを巻き込んで、ともに取り組み、ともに学ぶことをみんなで考えて、みんなで進めることを目的として活動しています。

偶数月に1回行われる定例会に出席し、ふくし共育支援への協力依頼や、各種研修の案内などを行い、「グループささえ」の活動支援を行いました。

日 程	内 容	出席人数
4月1日	第12回定期総会	6人
6月3日	令和7年度ふくし共育の日程と内容について	6人
8月5日	活動実施報告	8人
10月7日	シルバー大マッチング授業報告	7人
12月9日	会員募集について・活動実施報告	7人

(2) 広報充実事業

1) 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」を発行、裏表紙をボランティア情報紙「だいすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の活動内容の紹介、及び地域のみなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努めました。（年4回市内全戸配布）

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域でのつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛けて作成、児童・生徒に配布しました。（10月に小・中学校を通じて配布）

今年度から自治会未加入の方に社協を知っていただく取り組みとして、市内の5店舗に社協だよりを設置しました。

2) ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ（URL：<https://ohtawara-shakyo.or.jp/>）により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(3) 社会福祉士養成課程等実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程等実習生を受け入れました。実習生への指導やアドバイスを行うことで、社協職員のOJT¹等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

1) ソーシャルワーク実習

国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科 4人

郡山女子大学家政学部生活科学科 1人

8月4日～9月17日（内23日間）

2) 地域包括ケアシステムでの看護師の役割について学ぶ

那須看護専門学校 7人

10月31日（1日）

3) 地域統合看護学実習（地域包括療養支援実習）

国際医療福祉大学保健医療学部看護学科 14人

児童分野 5月27日 5人 高齢分野 6月3日 5人 精神分野 6月13日 4人

6 社会福祉法人の地域活動貢献支援

(1) 社会福祉法人連絡会の活動支援

平成30年10月から大田原市内の14社会福祉法人の参加で、法人本来の事業に加えて、地域のための公益活動を進めています。

1) 社会福祉法人連絡会の主な活動内容

①設備、備品の貸出

法人の施設設備、備品を活用するため、地域の皆様に貸し出します。

②地域出前講座講師派遣

法人の職員が、地域の講座や研修に出向きます。

③ふくし総合相談

法人の業務範囲に留まらず、地域の皆様からの相談に幅広く対応します。

④広報活動

広報紙「地域とともに生きる法人」通信第7号発行

⑤生活支援体制整備事業

第2層協議体委員として、市内12地区の協議体へ参加しています。

2) 社会福祉法人連絡会の参加法人

¹ OJT : **On-the-Job Training**（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）または現任訓練（げんにんくんれん）とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

- (福) あいのかわ福祉会 (那須共育学園 他)
- (福) 安寧 (山百合荘 他)
- (福) エルム福祉会 (エルムの園、SEL Pみなと、ヒカリノカフェ 他)
- (福) 謙心会 (にちにちそう 他)
- (福) 心美会 (保育園 ベビーエンゼル)
- (福) 至誠会 (晴風園、みどりの郷)
- (福) 章佑会 (やすらぎの里、若草園 他)
- (福) 千駒会 (おおたわら保育園)
- (福) 同愛会 (四季の風、かねだの里 他)
- (福) ひかり会 (ひかりのざき保育園、ひかりうすば保育園)
- (福) フレンズ会 (保育園チャイルド)
- (福) 邦友会 (風花苑 他)
- (福) 窓の陽 (ふるさとホーム那須、那須愛恵苑 他)
- (福) 大田原市社会福祉協議会

7 福祉活動顕彰事業

(1) 大田原市社会福祉協議会会長表彰

1) 第28回大田原市福祉ふれあいまつり 10月4日(土)

- 室井 敏雄 (西部地区社協会長)
- 鴫巢 隆美 (西部地区社協副会長)
- 細岡 昇 (西部地区社協事務局長)
- 岩間 孝 (佐久山地区社協会長ほか)
- 小林 千代 (寺町自治会福祉委員)
- 篠崎 洋子 (下町自治会(東部地区)福祉委員)
- 阿美 好子 (西原自治会福祉委員)
- 増田 道子 (赤堀東自治会福祉委員)
- 宮本 正行 (平山自治会福祉委員)
- 藤田カツノ (個人ボランティア)
- 菊池 智子 (川西地区社協事務局)
- 松本由紀子 (個人ボランティア)
- 永岡 久明 (5年継続寄付)
- 匿名 (5年継続寄付)
- スターライト友の会 代表 星里美 (5年継続寄付)
- 株式会社エヅリン (5年継続寄付)
- 株式会社ダイナム栃木大田原店 (5年継続寄付)

(2) その他の表彰

1) 全国社会福祉協議会会長表彰

市社協 郡司千尋

第 31 回栃木県民福祉のつどい 8 月 21 日（木）

2) 栃木県知事表彰

① ボランティア功労

湯津上地区社会福祉協議会

② 共同募金運動協力団体又は協力者

大田原市民生委員児童委員協議会連合会

益子 肇（若草自治会長）

斉藤 綾（若草ニュータウン自治会）

3) 栃木県社会福祉協議会会長表彰

民生委員児童委員 早川洋子

社会福祉法人・社会福祉施設・団体関係功労者

（福）至誠会 加藤かよみ、相馬愛実

（福）窓の陽 伊東元気、穴山るり

市社協 志賀はな絵、中津昭一、郡司照江

4) 栃木県共同募金会会長表彰

瀧田幸雄（元南金丸南部自治会長）

永山一美（元鹿畑自治会長）

Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 重層的支援体制整備事業移行準備事業

令和 8 年度からの本事業実施に向け、市役所内に、市民からの相談を包括的に受け止め、アセスメントの後に適切な関係機関へ丁寧なつなぎを行う、「つなげるサポーター」の配置や、包括的な相談支援機関、医療機関等との分野横断的な地域づくりに関する意見交換、社会福祉法人連絡会や市内で福祉に携わる団体等との、事例検討を通じた顔の見える関係性づくりを実施しました。

(1) つなげるサポータースキルアップ研修

1) 第 1 回「包括的相談のためのアセスメントスキル」

「事例から学ぶアセスメントのポイント」

講師 国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

講師 高石 麗理湖 氏

2) 第 2 回「各包括的相談支援機関からの事業説明」

つなぐシートを用いてのロールプレイ」

3) 第 3 回「相談支援につなげるために」

講師 大田原市障害者基幹相談支援センター主任相談支援専門員 荒居 和栄 氏

(2) 大田原市地域づくり情報交換会

内容：「地域共生社会と包括的な相談支援体制について」

講師 栃木県保健福祉部保健福祉課地域福祉担当 主任 高橋 透 氏

「地域づくり・地域支援の取組について～各機関からの報告～」

「分野横断的な地域づくりの取り組みに関するグループワーク」

(3) おおたわら地域共生つなげるネットワーク会議

内容：「地域共生社会と包括的な相談支援体制について」

「大田原市重層的支援体制整備事業について」

「複雑・複合化した課題の事例検討」

(4) 孤独・孤立つながりサポーター養成講座

孤独・孤立の問題について正しい知識を身につけ、身の回りの人に関心を持ち、できる範囲で困っている人をサポートできる人を地域に増やしていくことを目的に開催した。

講師 ゆたかはな 清水 喜子 氏

受講者：51 人（民生委員・児童委員、ボランティア連絡協議会、市職員、包括的相談支援機関職員、社協職員）

(5) 「地域共生社会」の実現に向けた研修

地域で「共に生きる」について考えるため、生活支援体制整備事業における協議体の場を活用し、地域住民等に対してグループワークを交えながら地域共生について考える研修を実施した。

1) 佐久山地区協議体

「ともに生きる研修」 7 月 30 日 受講者 25 人

「子どもの現況について」 10 月 22 日 受講者 25 人

「子どものつながりから生まれる佐久山の地域づくり」 12 月 6 日 受講者 3 人

2) 主任 SC 全体会議

「ともに生きる研修」 8 月 6 日 受講者 30 人

3) 大田原東部地区協議体

「ともに生きる研修」 8 月 19 日 受講者 24 人

4) 湯津上地区協議体

「ともに生きる研修」 9 月 8 日 受講者 8 人

「子どもの現況について」 11 月 12 日 受講者 12 人

5) 生活支援体制整備事業一層二層つながる会

「ともに生きる研修」 10 月 1 日 受講者 30 人

(6) ひきこもり出張相談会の開催

栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター「ポラリス☆とちぎ」の協力のもと、ひきこもりについて悩みを抱える家族、本人等の相談場所として、ひきこもり出張相談会を開催しました。

開催日 毎月第 4 水曜日 午前 10 時 00 分～午後 4 時 15 分（1 日 3 組）

相談件数（総数） 20 件

2 総合相談事業の実施

(1) 心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごととの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、市役所A別館及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

1) 心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所
大田原	毎週金曜日	午前9時～12時	市役所A別館
湯津上	毎月第1水曜日	午後1時～3時	佐良土多目的交流センター
黒羽	毎月第3木曜日	午前10時～12時	社協黒羽支所

2) 心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数20件）相談者19人

種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	1	健康・衛生		教育・青少年	
年金		医療		心身障害者（児）福祉	1
職業・生業		精神衛生	3	母子福祉・父子福祉	
住宅	1	人権・法律	1	老人福祉	
家族	4	財産	3	苦情	
結婚		事故		その他	5
離婚	1	児童福祉・母子保健			

3) 心配ごと相談相談員研修会

相談員として委嘱を受けた民生委員児童委員の皆さんが、相談を受けるうえで必要とされる傾聴の技術を学ぶことで、相談員としての更なる資質向上を図ることを目的に開催しました。

実施日：令和8年1月30日（金）午後1時30分～午後3時00分）

会 場：大田原市役所南別館2階会議室

講 師：社会福祉士 増渕 祐子 氏

内 容：「傾聴についての基本を学ぶ」

受講者：心配ごと相談員（民生委員児童委員）21人

(2) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円又は3万円を限度に貸し付けをする制度として実施しています。

1) 貸付・償還状況

前年度末残額（A）		845,092 円	
令和7年度	貸付金額（B）	1,362,000 円	新規貸付件数 69 件
	償還金額（C）	1,497,500 円	償還完了件数 73 件
	不納欠損額（D）	0 円	不納欠損件数 0 件
	預金利子（E）	1,800 円	預金利子
	地域福祉事業へ振替（F）	0 円	
残高（G）		982,392 円	年度繰越 (A - B + C + E - F)

(3) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

1) 貸付・償還状況

貸付	新規貸付 4件	緊急小口資金2件、教育支援資金 2件
償還	償還中 11件	緊急小口資金 3件 教育支援資金 4件 その他日常生活費 1件 福祉資金(技能習得)1件 福祉資金(障害者自動車購入費)2件
	償還完了 1件	福祉資金(療養・介護) 1件
	償還不能 0件	
	償還免除 2件	緊急小口資金 1件 教育支援資金 1件

2) 生活福祉資金フォローアップ事業

新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により収入の減少があった世帯を対象とした生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付(令和4年9月末日終了)をした世帯に対して、アンケート送付や電話により、その後の生活状況を伺い、生活に困っている世帯には、償還返済を遅らせる償還猶予申請や生活困窮者自立支援事業(住宅確保給付金、生活保護の申請、ハローワークへ連絡など)につなぎました。

○相談及び支援件数延べ 442 回

(償還猶予者 135 件 償還困難者 81 件 償還免除者 226 件)

3) 貸付・償還状況

No.	資金名	貸付 件数	貸付総額	償還中	償還 猶予中	償還 免除数	償還免除額
1	緊急小口資金	616	107,950,000	197	5	414	72,000,000
2	総合支援資金 (初回)	341	280,200,000	306	9	261	126,690,000
3	総合支援資金 (延長)	102					
4	総合支援資金 (再貸付)	133					
合 計		1,192	388,150,000	503	14	675	198,690,000

※借受人の転入・転出等の関係で前年度より総件数が減少しています。

3 生活困窮者自立支援事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

1) 相談件数（※令和7年度に新たに受付をした件数）

生活困窮者自立支援事業		新規相談数 86 件	
病気や健康、障がいのこと	3	地域との関係について	0
住まいのこと	3	家族関係・人間関係について	0
収入・生活費のこと	52	子育て・介護のこと	0
家賃やローンのこと	5	ひきこもり・不登校	0
税金や公共料金のこと	2	DV/虐待	0
債務について	4	食べる物が無い	6
仕事探し・就職について	3	その他	8
仕事上の不安やトラブルについて	0	計	86 件

2) 支援実施延べ回数※令和8年3月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	177 回
2	訪問同行・支援	10 回
3	面談	269 回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	36 回
5	他機関との電話照会・協議	18 回
6	その他	29 回

4 権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

県社会福祉協議会から受託し、“あすてらすおおたわら”として、高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理支援サービス、書類預かりサービスを下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和7年度	利用者数	備 考
年度当初	80人	
新規契約	7人	高齢3人、知的障害2人、精神障害2人
解約	12人	高齢5人、知的障害4人、精神障害3人 (死亡1人、施設管理5人、本人管理6人)
年度末	75人	

・専門員 3名

・生活支援員 27人（社協職員12人含む）

・主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（預貯金のおし入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

(2) 法人後見事業

認知症や障がいにより判断能力が不十分であり、意思決定が困難な方の権利擁護支援として、下記の通り実施しました。成年後見人等として、身上保護、財産管理の支援を実施します。

1) 運営委員会

実施日	内容
10月30日(木)	受任審査（2名）

2) 受任件数

成年後見人等受任件数 1 件

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	令和 7 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	21,232,605 円	18,113,853 円	117.2%
年間延べ利用者数	712 人	818 人	87.0%
月平均利用者数	59.3 人	68.1 人	87.1%
ホームヘルパー数	14 人	14 人	100%

2) 受託訪問介護事業の推進

① 生活支援ホームヘルプサービス

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託しましたが、利用者はいませんでした。

	令和 7 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,000 円	0 円	—
年間延べ利用者数	1 人	0 人	—
月平均利用者数	0.08 人	0 人	—

② 養育支援ヘルパー派遣事業

妊娠中または出産後の養育不安や孤立感を抱える養育世帯に対しホームヘルパーを派遣する「養育支援ヘルパー派遣事業」を大田原市から受託し、養育支援を実施しました。(令和 5 年度新規)

	令和 7 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	71,400 円	163,500 円	43.7%
年間利用者数	4 人	4 人	100%
年間延べ訪問回数	17 回	38 回	44.7%

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

1) 障害福祉サービス（居宅介護）

	令和7年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	11,803,521 円	11,264,887 円	104.8%
年間延べ利用者数	241 人	263 人	91.6%
月平均利用者数	20 人	21.9 人	91.3%

2) 同行援護サービス

	令和7年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	701,842 円	639,102 円	109.8%
年間延べ利用者数	37 人	46 人	80.4%
月平均利用者数	3.1 人	3.8 人	81.6%

3) 移動支援

	令和7年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	156,800 円	158,100 円	99.2%
年間延べ利用者数	9 人	9 人	100%
月平均利用者数	0.75 人	0.75 人	100%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、車椅子などを無償貸与しました。

1) 車いす貸与状況

	貸出件数	保有台数
本所	87件	30台
湯湯津上支所	2件	3台
黒羽支所	27件	12台
計	116件	45台

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

リフト付き自動車貸出件数 124件

(3) 軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

軽トラック貸出件数 4件

(4) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また3人の委員による第三者委員会を設置しています。

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

1) 理事会

【第1回理事会】

○開催日時： 5月29日（木）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第2号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第3号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第3号）について（専決事項）

議 案

議案第1号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第2号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

=監査報告=

議案第3号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について

議案第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

議案第6号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第1回評議員会の開催について

議案第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員候補者の確認について

【第2回理事会】

○開催日時： 7月2日（水）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第 4 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

議 案

議案第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選任について

議案第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

【第 3 回理事会】

○開催日時：12 月 17 日（水）

○会 場：大田原市生涯学習センター 2 階多目的会議室 B

報 告

報告第 5 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について（専決事項）

議 案

議案第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会日常生活自立支援事業生活支援員の就業及び給与等に関する規則の制定について

議案第 11 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

議案第 12 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 13 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける苦情解決第三者委員の選任について

議案第 14 号 令和 7 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

議案第 15 号 令和 7 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 2 回評議員会の開催について

【第 4 回理事会】

○開催日時：3 月 10 日（火）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

- 報告第 10 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について
- 議 案
- 議案第 16 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 議案第 17 号 令和 8 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について
- 議案第 18 号 令和 8 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について
- 議案第 19 号 令和 7 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 3 回評議員会の開催について

2) 評議員会

【第 1 回評議員会】

○開催日時： 6 月 19 日（木）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第 1 号 決議に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 2 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 3 号）について（専決事項）

報告第 3 号 令和 7 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

議 案

議案第 1 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 2 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

=監査報告=

議案第 3 号 社会福祉法人大田原社会福祉協議会理事及び監事の選任について

【第 2 回評議員会】

○開催日時： 12 月 24 日（水）

○会 場：市役所 301、302 会議室

報 告

報告第 4 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について（専決事項）

議 案

- 議案第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会日常生活自立支援事業生活支援員の就業及び給与等に関する規則の制定について
- 議案第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 議案第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 7 号 令和 7 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

【第 3 回評議員会】

○開催日時： 3 月 18 日（水）

○会 場：市役所 301、302 会議室

報 告

報告第 8 号 決議事項に関わる利害関係の確認について

議 案

議案第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第 9 号 令和 8 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第 10 号 令和 8 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

(2) 会員加入の促進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めました。

1) 会員加入の状況

会費の種類	会費 1 口	会員数	会費納入額	前年比	前年
普通会员費	500 円	14,794 件	7,397,600 円	97.5%	7,585,900 円
特別会費	1,000 円	510 件	914,000 円	95.9%	953,000 円
賛助会費	5,000 円	32 施設	155,000 円	93.9%	165,000 円
計			8,466,600 円	97.3%	8,703,900 円

(3) 中期経営計画策定準備

中期経営計画は、組織の経営安定、強化に向け、永続的な事業継続・事業発展を推進するための計画として位置付け、策定を進める準備として、理事会、評議員会で中期経営計画策定の意義をご理解していただきました。

策定には役職員が参画し、そのプロセスが大切であることから、全職員で、4つの部門（法人経営部門、地域福祉活動推進部門、相談支援・権利擁護部門、介護・生活支援サービス部門）ごとに、強み、弱み、現状の課題を分析し、地域福祉を推

進する民間団体として、使命や経営理念、将来のビジョンの具体的な戦略をもち時代に対応した視点で、組織全体の個別支援と地域支援の質の高いサービス提供を目指す。そのためにはどうしたらよいのか、戦略を検討しました。

2 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

1) 預託の状況

① 金銭預託

金 銭 預 託	収 入 の 部	科目	金額	預託者（敬称略）
		前年度繰越金	3,580,863 円	
		預託金額	0 円	
		預金利息	5,155 円	
		合計	3,586,018 円	
	支 出 の 部	科目	金額	配分先
		配分金額	56,000 円	市ボランティア連絡協議会
			18,000 円	大田原市いきいきクラブ
			18,000 円	市障がい児者等保護者会
		合計	92,000 円	
	収入支出差引残高		3,494,018 円	

② 物品預託

	寄付者氏名（敬称略）	預託物資	使途
1	（株）ダイナム栃木大田原店	食料品他 144 点	生活困窮世帯へ配布
2	連合栃木那須地域協議会	タオル 100 本	社会福祉施設へ配布
3	匿名	車いす（1 台）	貸出用として使用
4	栃木県退職公務員連盟 那須北支部	タオル 645 本	社会福祉施設へ配布
5	匿名	カメラ	社協黒羽支所で活用
6	ライオンズクラ 4R. 2Z. ZC	食料品（米 30 kg、 カップ麺等 16 箱）	ひとり親家庭等へ配布
7	匿名	車いす（1 台）	貸出用として使用

8	株式会社 広築	食料品（うどん 1 箱他）	生活困窮世帯へ配布
9	後藤憲一	タオル 100 本	社会福祉施設へ配布
10	(株) GOOD NEWS	バターのいところ 400 箱	市内保育園へ配布
11	亀久体操クラブ	タオル 3 箱	社会福祉施設へ配布
12	ライオンズクラ 4R. 2Z. ZC	食品（米 30 kg、カ ップ麺 11 箱他）	子どものいるひとり親 家庭等へ配布

(2) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

1)基金運用状況

科目	金額	摘要	
前年度末基金原資残高①	162,743,768円		
令和7年度寄付金額②	245,000円	桜岡建設（株）	10,000円
		大田原温泉ホテル龍城苑	10,000円
		(株)伊藤電設	10,000円
		(株)大岩建設	50,000円
		那須スポーツパークグラウンド・ゴルフホールインワン基金	95,000円
		日本基督教団西那須野協会	10,000円
		(有限会社) 莊樹園	60,000円
預金利息等③	673,472円	国債、公債利息	374,000円
		公募公債利息	259,000円
		定期預金利息	31,523円
		普通預金利息	8,949円
区分間繰入金支出④	14,094,472円	令和7年度原資取崩額	13,421,000円
		預金利息分繰出	673,472円
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④	149,567,768円		

(3) 大田原市社会福祉協議会寄附

大田原市の地域福祉推進のため、市民等から寄せられた寄付を事業費として適正に運用しました。

	寄付者氏名	金 額
1	(匿名)	1,000 円
2	(匿名)	10,000 円
3	大田原市グラウンド・ゴルフ協会	54,000 円
4	大田原市建設業協同組合	20,000 円
5	ライオンズクラブ 333-B 地区 4R2Z	20,000 円
6	(匿名)	1,000 円
7	栃木大衆音楽家協会	20,000 円
8	連合栃木那須地域協議会	15,000 円
9	(匿名)	10,000 円
10	(匿名)	1,000 円
11	健康写経の会	10,000 円
12	H12 年度黒羽中学校同窓会	3,835 円
13	(匿名)	1,000 円
14	吉川秀之	7,460 円
15	大田原市市制施行 60 周年を祝う会	24,560 円
16	(匿名)	1,000 円
17	栃木県大衆音楽家協会県北支部	20,000 円
18	(匿名)	1,000 円
19	黒羽商工会女性部	7,821 円
20	宇都宮ヤクルト販売(株)	63,000 円
21	(匿名)	10,000 円
22	(匿名)	1,000 円
23	スターライト友の会 代表 星 里美	15,636 円
24	認定こども園 西那須野幼稚園	15,000 円
25	(匿名)	5,000 円
26	(匿名)	1,000 円
27	(匿名)	10,000 円
28	カラオケスタジオちゃん	20,000 円
29	ライオンズクラブ 333-B 地区 4R2Z	20,000 円
30	佐藤勢津子	1,970 円

31	(匿名)	1,000 円
32	(匿名)	1,000 円
33	黒羽商工会青年部	60,716 円

3 栃木県共同募金会大田原市支会

(1) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月26日までの期間、募金活動を行ないました。8月28日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

1) 共同募金実績一覧 (単位：円)

募金種別	件数	募金実績額	目標額	差引額	達成率
戸別募金	15,214 件	5,324,960 円	5,410,000 円	-85,040 円	98.4%
特別募金	982 件	2,584,754 円	2,620,000 円	-35,246 円	98.7%
学校募金	41 件	290,538 円	285,000 円	5,538 円	101.9%
街頭募金	35 件	380,350 円	360,000 円	20,350 円	105.7%
職域募金	95 件	557,915 円	476,000 円	81,815 円	117.2%
イベント募金等	52 件	583,089 円	322,000 円	261,089 円	181.1%
合計	16,419 件	9,721,606 円	9,473,000 円	248,606 円	102.6%

令和7年度募金からの配分：令和8年度の配分予定は6,647,606円

2) 共同募金配分金事業

令和7年度は実績に応じて、県共同募金会からB募金配分6,515,860円が大田原市社協に配分されました。

3) 「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

【審査委員会】

1月27日(火)に審査会を実施しました。

○助成対象(助成は令和8年度に実施します。)

No.	団体名	申請事業	申請金額
1	栄町倶楽部	各種講座、みんなの集い	50,000 円
2	愛サロン「天神さん」	生活支援事業(高齢者の健康づくりと居場所づくり)	50,000 円

3	野崎ひょうたんクラブ	ひょうたんの栽培とひょうたん作品の普及、指導、支援、居場所活動	50,000 円
4	大田原市傾聴ボランティア ハートフルハート	個人宅や施設での傾聴ボランティア活動	50,000 円
5	ひまわりの会	小学校訪問による読み聞かせなどの参加	50,000 円
6	篠原カフェ	居場所づくりと 伝統文化の継承	50,000 円
7	東部気楽会	趣味や茶話会を通しての健康寿命の延伸と、認知症予防活動	50,000 円
合 計			350,000 円

○令和 7 年度に事業に取り組んだ団体

No.	団体名	申請事業	助成金額
1	愛サロン「天神さん」	輪投げ・卓球・健康麻雀	50,000 円
2	栄町倶楽部	各種講座、みんなの集い	50,000 円
3	ジャガイモ仲間の会	野菜作りと直売ふれあい	50,000 円
4	野崎ひょうたんクラブ	ひょうたんの栽培と作品の普及、指導、支援、居場所活動	50,000 円
5	大田原市傾聴ボランティアハートフルハート	個人宅や福祉施設での傾聴ボランティア活動	50,000 円
6	篠原カフェ	居場所づくり活動 伝統文化の継承	50,000 円
7	東部気楽会	地域内住民の親睦を図り、趣味活動や茶話会	50,000 円
合 計			350,000 円

4 経営理念の施策の推進について

重点項目「安定した財源の確保と経営」

○基本施策～地域との協働による募金活動の推進～

ふくし共育と寄付つき商品等の検討

重点項目「新たな広報戦略」

○基本施策～社協活動のPR強化～

フェイスブックの研究、パンフレット作成の検討

○基本施策～SNSの活用～

若い世代や自治会未加入世帯への情報発信となるように公式X（旧Twitter）を各

係に設定し、運用を開始しました。各係担当週を割り振り、事業報告や地域活動の紹介などの更新を行いました。

5 その他

(1) 佐良土多目的交流センターの管理

【令和7年度実績 貸館業務：298件】

(2) 印刷機利用サービス事業

【登録団体数：20団体】

【令和7年度 利用状況：モノクロ 67,083枚、カラー 68,641枚】